第２回あきる野市教育基本計画（第４次計画）策定検討委員会　議事録

１　開　催　日　　令和８年７月２２日（水）

２　開 始 時 刻　　午前９時５７分

３　終 了 時 刻　　午前１０時３６分

４　場　　所　　あきる野市役所　５０３会議室

５　出 席 委 員

委員長	丹治　充
副委員長	小原太一
委員	海老沢治美
委員	遠藤文寛
委員	間嶋　健
委員	山田参生
委員	長谷川美樹

６　欠 席 委 員

委員	久保祐司
委員	齋藤弘圭

７　事務局出席者

教育総務課長	木村紋子
教育施設担当課長	坂本雅典
学校給食センター建設準備担当課長	和田達也
指導担当課長	橋本　健
学校給食課長	田倉崇史
生涯学習推進課長	石川尚昭
スポーツ推進課長	一瀬秀和
図書館長	青木邦彰
指導主事	貝賀健史

８　事務局欠席者　　指導主事　近藤壮一郎

（議事録）

１ 開会	
事　務　局	皆様、本日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。 定刻より少し前ではございますが、全員揃いましたので、第２回あきる野市教育基本計画（第４次計画）策定検討委員会を始めさせていただきます。 本日の進行を務めさせていただます教育総務係長の内倉です。よろしくお願いいたします。 なお、本日は、齋藤委員と６月から新しくPTA連合会長となり、廣瀬委員から委員を引き継いでいただいた久保委員については、ご都合によりご欠席となりますので、ご承知おきください。 では、早速、事前に配付させていただいた資料について、確認いたします。 まず「次第」、続いて「資料１　あきる野市教育基本計画（第４次計画）骨子に対する委員からの意見」、「資料２　あきる野市教育基本計画（第４次計画）骨子に対する委員意見照会」、「資料３－１　あきる野市教育基本計画（第３次計画）の成果指標・達成状況」、「資料３－２　あきる野市教育基本計画（第４次計画）の成果指標」、最後に「資料４　あきる野市教育基本計画（第４次計画）冊子案」となっております。 お手元に資料の無い方はいらっしゃいますか。よろしいでしょうか。 また、本日の会議につきましては、議事録を作成するため、録音させていただきますことをご了承ください。 それでは、次第に沿って進めさせていただきます。
２ 挨拶	
事　務　局	では、次第の「２　挨拶」について、丹治委員長よりご挨拶をいただきたいと思います。 丹治委員長、よろしくお願いいたします。
委　員　長	皆様、こんにちは。暑い中、尚且つ、お忙しい中、第２回あきる野市教育基本計画（第４次計画）策定検討委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。本日の会議は、前回の５月２５日に開催いたしました第１回あきる野市教育基本計画（第４次計画）策定検討委員会において、策定スケジュール案と骨子案についてご意見を伺う中で、内容を追記あるいは修正、削除したものを改めて提出させていただいております。本日の会議では、第４次計画の成果指標と計画素案につきましてご協議をいただくことになりますけれども、限られた時間の中での協議となりますので、委員の皆様方については、忌憚の無いご意見等をいただければと思っております。効率的に委員会を進めさせていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。
事　務　局	丹治委員長、ありがとうございました。
３ 議題	
事　務　局	それでは次に、「次第３　議題」に移ります。 ここからの進行は、丹治委員長にお願いしたいと思います。 丹治委員長、よろしくお願いいたします。

議題(1)第4次計画の骨子に対する委員意見について	
委　員　長	ここからの進行は私のほうで努めさせていただきます。 それでは、議題「（１）第４次計画の骨子に対する委員意見について」でございます。 まず、事務局から説明をお願いします。
事　務　局	説明させていただきます。まず、資料１と資料２をご覧ください。 資料１については、第１回の検討委員会後に委員の皆様からご提出いただいたご意見を一覧表にまとめたものになります。たくさんのご意見ありがとうございました。意見ナンバーの No.１、７、８、２４、２７に星印がついております。こちらは、ご意見を受け、上位計画や言葉の整合性を図るために修正が必要であると事務局で判断し、修正を行っております。その他のご意見については、次にご説明させていただく資料２に回答を記載しておりますので、ご覧ください。 資料２については、ご意見を受け、文言の追記や修正を行った箇所を赤字に、削除した箇所を青字で見え消しにしております。 申し訳ありませんが、資料２について、１点修正させていただきます。 資料１ページ目の方針「食育の推進」の取組内容について、黒字で記載している箇所の担当課が「学校給食課」となっておりますが、こちらは「指導室」の誤りとなりますので、修正をお願いいたします。 ご意見に対する回答につきましては、資料右側の「意見に対する回答」欄に記入しております。内容はご一読していただいているかと思いますので、改めて、ご不明点やその他ご意見がございましたらお聞かせいただければと思います。 説明は以上になります。
委　員　長	ただいま、事務局の説明が終わりました。この件につきまして、ご質問やご意見がございましたら、お伺いしますがいかがでしょうか。
委員一同	（意見無し。）
委　員　長	ご意見等が無いようですので、議題「（１）第４次計画の骨子に対する委員意見について」は以上で終わらせていただきます。
議題(2)第4次計画の成果指標について	
委　員　長	続いて、議題「（２）第４次計画の成果指標について」でございます。 それでは、事務局から説明をお願いします。
事　務　局	説明させていただきます。資料３－１と資料３－２をご覧ください。 少しボリュームがありますので、説明の時間をいただきたいと思います。 まず、資料３－１につきましては、現行の計画の成果指標と令和７年度時点の達成状況を一覧にしたものになります。達成状況を踏まえ、第４次計画への「継続」「一部変更して継続」「削除」に色分けし、その理由をまとめております。

	第４次計画では、現計画を継承していることから、多くの指標を継続するのですが、資料の３－１では、削除する指標について簡単に説明させていただきます。資料で、削除部分は水色になっております。 まず、１つ目は、取組目標１の「年間の残食量（ごはん、おかず等）の割合」についてでございます。近年、給食を食べきれないお子さんもいる中で、「無理矢理食べさせるのはどうか」というような多様性に重きを置く教育環境であることなどから、第４次計画では、この指標を削除することといたしました。 続いて、２つ目は、取組目標２の「新学校給食センター整備の推進」についてでございます。こちらは、第４次計画の取組中に新センターの建設が完了し運営が開始されることや、日の出町との協議が必要となる事項等があることから、第４次計画の成果指標には設定せず、削除することといたしました。 続いて、資料３－２についてご説明させていただきます。 資料３－２については、第４次計画に掲載予定の成果指標を一覧にしております。資料３－１と同様に、現計画から「継続」「一部変更して継続」「新規」の設定理由をまとめております。 そこで、資料でピンク色に色づけしている「一部変更して継続」と、水色に色づけしている「新規」について、その理由を簡単に説明させていただきます。 まず、取組目標１についてでございます。 １つ目。現計画で「全国学力状況調査における各教科平均正答率」を指標としておりましたが、調査を受ける子どもたちは毎年変わることから、単に教科の正答率の増加を目標とするだけではなく、学んだ知識や技能を実生活等で活用できる力の育成を目指すため、第４次計画では、「自分の考えがうまく伝わるように、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表しているか」「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいるか」等を含む「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況」をテーマとする質問に対して肯定的な回答をした児童生徒の割合とする指標に変更しました。 ２つ目。現計画で「人権啓発に関する事業の実施回数及び参加者数」を指標としておりましたが、実施回数や参加人数の増加を良いとする目標値ではなく、第４次計画では、他者への思いやりなど豊かな心を育む教育を推進するため、「自分には良いところがあると思いますか」「人が困っているときは、進んで助けていますか」等を含む「挑戦心、達成感、模範意識、自己有用感、幸福感等」をテーマとする質問に対して肯定的な回答をした児童生徒の割合とする指標に変更しました。 ３つ目。現計画で「食に関する授業及び給食時間における指導回数」を指標としており、学校給食課が主体となって開催した指導等の回数となっておりました。第４次計画では、学校給食課主体の事業だけでなく、教育課程に基づいた各校で作成する食に関する年間指導計画における指導回数を指標とし、項目名を「学校における食に関する年間の指導回数」に変更しております。 ４つ目。第４次計画において、新たに、豊かな地域資源を生かした体験や人々との協働を通じて、よりよい社会を創ろうとする態度の育成を目指すこととしたことから、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」等を含む「地域や社会にかかわる活動の状況等」をテーマとする質問に対して肯定的な回答をした児童生徒の割合を指標に設定しました。 続いて、取組目標２についてでございます。 １つ目。現計画で「個別指導計画の作成人数」としておりましたが、人数の増加を良いとする目標値の設定ではなく、第４次計画では、障がいのある児童生徒の能力や可能性を最大限に伸ばす教育を充実させるため、「障がいのある児童（生徒）に対する指導上の工夫を行いましたか」等を含む「特別な配慮が必要な児童生徒への指導」をテーマとする質問に肯定的な回答をした学校の割

	合とする指標に変更しました。 ２つ目。現計画で「９０日以上欠席の児童・生徒が支援につながった割合」としておりましたが、柔軟な仕組みによる多様な学びの場の一層の充実を目指し、どのような支援に繋がっているか、行われているか等を可視化する必要があることから、第４次計画では、学校外の機関で専門的な指導等を受けたり、自宅でICT等を活用して学習活動を行ったりしたことにより、指導要録上出席扱いとした不登校児童生徒の割合とする指標に変更しました。 ３つ目。現計画ではICTの活用に関する指標がございませんでした。第４次計画では、新たに、一人一台端末が導入され、これからのデジタル時代を生き抜く人材の育成を目指していくため、「ICT機器を使って、調べたことをまとめたり、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる」等を含む「ICTを活用した学習状況」をテーマとする質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合を指標に設定いたしました。 続いて、取組目標３でございます。こちらは１点になります。 現計画で「郷土芸能連合会加盟団体数」としておりましたが、近年、加盟団体数が減少している中で、活動団体数に着目するのではなく、実際に活動する実会員数に着目する指標に変更しております。 続いて、取組目標４についてでございます。 １つ目。現計画で「放課後子ども教室開設校数（小学校）」としておりましたが、令和６年度に全小学校で開設が完了したことに伴い、子どもが安全に安心して過ごせる居場所としての環境整備や事業の拡充を進めるため、放課後子ども教室への児童の登録率とする指標に変更しました。 ２つ目。現計画で「コミュニティ・スクールの導入校」としていましたが、令和５年度に市内全小中学校に学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクールの導入が完了したことに伴い、今後は、地域学校協働活動推進事業を活用し、地域全体で子どもを育てる協働活動を推進するため、協働活動に参画した地域住民の数とする指標に変更しております。 ３つ目。第４次計画では、新たに、部活動の地域展開に関する取組を推進することから、東京都の学校部活動の地域展開に関する推進計画やガイドラインでも指標として示されていることを踏まえて、土日・祝日に活動している部活動の地域展開の割合を指標として設定することにいたしました。 以上が、第３次計画と第４次計画の指標で、変更、削除、新規設定した箇所の説明となります。 これらの内容を踏まえて、ご意見等をいただければと思います。よろしくお願いいたします。
委　員　長	ただいま、事務局の説明が終わりました。 ただいまの件について、ご質問・ご意見がございましたらお伺いしますが、いかがでしょうか。
委　　員	資料３－２についてです。取組目標４の成果指標「活動に参画した地域住民の数（延べ人数）」とありますが、活動の内容がよく分からないので、詳しく教えていただければと思います。
事　務　局	分かりづらい表現で大変申し訳ございません。 こちらは、学校運営協議会を含めた地域学校協働活動の内容となりますので、指標にも追記させていただきます。
委　　員	ありがとうございます。

委　員　長	続いて、いかがですか。
委　　員	資料３－１で、取組目標１の成果指標「年間の残食量（ごはん・おかず等）の割合」が第４次計画では削除とのことですが、学校に行くと、給食センターの方々が、「なるべく残食を少なくして、子どもたちにおいしい給食を食べさせたい」と日々努力されている姿を見させていただきます。なので、ただ削除ですと、今までしてきた努力が無駄になってしまうように感じます。給食を食べられないお子さんもいることはわかっていますが、食べ物を大切にするという考えも大事なので、残食量を減らすための取組の方法についても、もう少し検討していただけるとうれしいです。
事　務　局	ご意見ありがとうございます。一応、「指標」と「取組内容」とがあると考えていて、今までの計画では残食率を指標として大きく掲げてきましたが、近年、給食が苦手でなかなか食べられないという子どもたちがいる中で、残食率を成果指標として示すのは適切では無いと判断した次第です。ただ、今までどおり、残食量を減らすという取組自体は継続して実施していきますし、おいしい給食を提供するために残食率を参考にしますので、今後、残食率については、関連する個々の計画の中で評価していくことになると思います。
委　員　長	指導面ではどうですか。
事　務　局	残食の件でございますが、子どもたちが栄養や今後の成長、自分の体のことを大事に考える食についての学習は、学校の教育課程の中で体育や特別活動、学校行事等を通して行っています。また、給食活動の中でも教員が日常的に指導しております。これまで、残食率という数字だけで見てきましたが、今後は、食や給食の大事さ等といった指導内容についても確認していくべきかと思いますので、指導室としても関わっていきたいと思っております。
委　　員	ありがとうございます。
委　員　長	その他、いかがでしょうか。
委　　員	資料３－２の取組目標４の成果指標「活動に参画した地域住民の数（延べ人数)」について、指標としては良いと思うのですが、「とにかく人数を増やせば良い」となってしまうような気がします。それはどうなのでしょうか。
事　務　局	委員のご意見を参考に、指標の中身を再検討させていただければと思います。
委　　員	各学校で地域の方をたくさん巻き込んで活動するのはとても良いことなのですが、関わっている人数よりも、地域の方々がどのような関わり方をしているかの方が重要なのではないかと思いました。
事　務　局	確かに、活動の内容によって人数は変わってしまいますし、学校によって差も出てしまうと思いますので、指標について少し検討させていただきたいと思います。
委　　員	よろしくお願いします。

委　員　長	活動に参加する児童生徒については、指導室どうですか。
事　務　局	どういった活動をすることによって、どのくらの大人が必要で、どれだけの子どもに影響を与えるかということがまだ見えないので、今回の指標については、学校の要望と調整しながら、再度、指導室と生涯学習推進課で検討させていただきます。
委　員　長	教育総務課はどうですか。
事　務　局	教育総務課からは、教育基本計画の全体をまとめる立場としてお伝えすると、成果指標や目標値はゴールではなく、あくまで取組内容の中身の質を可視化するためであり、この指標については人数になっております。 生涯学習推進課や指導室も含めて教育委員会として、質を可視化するというところで、もう一度改めて、指標を人数にするかパーセンテージにするか等について検討したいと思います。
委　員　長	その他、いかがでしょうか。
委　　員	確認です。資料３－２の取組目標３に多いのですが、目標値が「現状維持」という標記になっています。これは、「第３次計画の目標値を維持する」という考え方なのか、それとも、「令和７年度の現状値を維持する」という考え方になるのか、教えていただきたいです。
事　務　局	「令和７年度の現状値を維持する」という考え方になります。目標値を現状値と数字の下一桁まで同じにするのではなく、「現状程度の人数や団体数、パーセンテージを目標にしたい」という意味で「現状維持」という標記になっております。成果指標全体で「現状維持」となっているものは全て同じ考え方だと思っていただいて構いません。令和１３年度に向けて、会場の使用料や参加費等が値上がりしても、令和７年度の現状と同じ程度の人数やパーセンテージでありたいという思いで、このような標記としておりますが、もし、わかりづらい等のご意見があれば再度検討させていただきます。
委　　員	成果指標の「寿大学の登録者数」の目標値は、会場のキャパの関係で人数的にこれ以上は難しいということですか。現状、キララホールはかなり満員だと思うのですが。
事　務　局	現状としては、大体、申し込み数の８割程度が当日いらっしゃるので、もう少し目標値を増やしても問題は無いかと思います。当日に満員になることはありません。
委　　員	例えば、「６０歳以上の人口に対して寿大学で学ぶ市民が何パーセントか」を指標にするなど、考え方は色々あるかと思いますが、少し検討してみてください。
事　務　局	承知しました。
委　員　長	その他、ありますか。

委　　員	取組目標１の成果指標については、指導室コンセプトと合わせた目標になっていて、学校としては大変取り組みやすくなると感じております。修正ではなく、ありがたいという前向きな意見になります。 それから、１点少し気になるところがあります。取組目標２の不登校の成果指標について、「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査において、指導要録上出席扱いとした不登校児童・生徒の割合」となっていますが、指導要録上出席扱いとすべきかどうかについて、まだ校長間で具体的な方針が定まっておらず、校長によって考え方が分かれるところかと思っています。例えば、タブレットを使って家で学習した後に提出物まで求める考えの校長と、オンライン上の授業等に参加してもらえればそれで良いとする考えの校長とがおり、かなり差があります。なので、校長会等で教育委員会からあきる野市としての方針を示していただけたらありがたいと思います。
事　務　局	不登校児童生徒の出席扱いにつきましては、年度初めにもお伝えしているところではございますが、改めて校長会等を通して周知させていただければと思います。
委　員　長	その他、いかがですか。よろしいですか。 それでは、ご意見等が無いようですので、議題「（２）第４次計画の成果指標について」は以上で終わらせていただきます。
議題(3)第4次計画の素案について	
委　員　長	続いて、議題「（３）第４次計画の素案について」でございます。 それでは、事務局から説明をお願いします。
事　務　局	説明させていただきます。資料４をご覧ください。 ただいま説明させていただいた骨子案の修正箇所や成果指標について、冊子の形にまとめさせていただいております。まだ、第１章や各取組目標の課題や現状等に関する部分については調整中のため、今後、基本施策や方針が若干変更する場合もありますが、どのような計画になるかわかりづらいかと思いまして、今回、冊子の形でお示しをさせていただいております。大まかな計画のつくりをご確認いただければと思います。 説明は以上になります。
委　員　長	ただいまの説明について、ご質問・ご意見がございましたらお伺いしますが、いかがでしょうか。
事　務　局	補足の説明になりますが、１１ページの分野別個別計画について、「あきる野市生涯学習推進計画（あきる野まなびプラン５）」は今年度に同時並行で策定を進めているところでございます。そのため、詳細な内容まで決定していない状況です。先ほど説明があったとおり、今後、内容や目標などについて、生涯学習の分野においては、整合性を図るために修正等があるかと思いますので、ご承知おきください。
委　員　長	ご意見はいかがですか。よろしいですか。 それでは、ご意見等が無いようですので、議題「（３）第４次計画の素案について」は以上で終わらせていただきます。

議題(4)その他 委　員　長	続いて、議題「（４）その他」についてでございます。 それでは、事務局から説明をお願いします。
事　務　局	皆様、様々なご意見ありがとうございました。 いただいたご意見をもとに、第４次計画の内容をブラッシュアップしていきたいと思います。 また、本日の委員会の内容等において、さらにご意見がある場合には、７月３１日金曜日までに、メール等で教育総務係へご提出いただければと思います。 最後に、次回の検討委員会の開催についてご連絡でございます。次回は、令和８年９月２５日金曜日に今回と同様５０３会議室で午前１０時から実施させていただきます。ご都合等が悪い場合は、事前にお知らせください。 なお、開催通知や資料等については、作成でき次第、送付させていただきますので、ご承知おきください。よろしくお願いいたします。
委　員　長	次回の日程等について説明がありましたが、ご質問等はございますか。 ご質問等が無ければ、本日の議題につきましては、以上で終了となります。 委員の皆様方、ご審議ありがとうございました。 それでは、進行を事務局にお返しします。
４ 閉会 事　務　局	丹治委員長、ありがとうございました。 では、次第の「４　閉会」に移ります。 閉会のご挨拶につきましては、小原副委員長にお願いしたいと思います。 小原副委員長、お願いいたします。
副 委 員 長	本日はどうもありがとうございました。 前回の委員会後に委員意見が２８個も出たということで、本日の会議も大変良かったかなと思います。事務局の皆様に一つ一つ丁寧にお答えいただいて感謝申し上げます。次回以降も引き続きよろしくお願いいたします。
事　務　局	小原副委員長、ありがとうございました。 では、以上で、第２回あきる野市教育基本計画（第４次計画）策定検討委員会を閉会いたします。 皆様、本日はお忙しいところご出席いただきありがとうございました。
委員・事務局一同	ありがとうございました。